

2020年8月7日開催

2020年9月期 第3四半期決算説明会における主な質疑応答内容

この質疑応答集は、8月7日（金）に開催した決算説明会（アナリスト・機関投資家向け）にて、皆様からいただいたご質問をまとめたものです。理解促進のために一部内容の加筆修正を行っております。（説明会開催時間中に個別にメール等で頂いた質問についても掲載しております。）

Q1. 来期以降の営業投資有価証券の売却方針について安定的に今期と同程度の規模を維持するのか、あるいは利益を最大化することを優先し規模については変動する可能性があるのか？

新型コロナウイルス感染拡大がどの程度世界経済に影響を与えるのかが不透明である中、然るべきタイミングで売却を行うことが重要だと考えておりますが、来期以降の営業投資有価証券の売却方針については現在議論しております。また、投資事業以上にクロスボーダー部門を中心とした事業の成長に注力しており、第4四半期も様々な施策に取り組んで参りますので、ご期待頂ければと思います。

Q2. Buyeeの受注高について、今後も高い成長率が維持できると考えているか？また、受注高が急拡大した理由は何か？

Buyeeの成長は、第1四半期から開始したメルカリとの提携及び、より安価な国際配送手段の導入などが要因となっており、台湾、北米、東南アジア各国からの受注が特に増加いたしました。今後もメルカリを始めとした提携サイトの成長や、さらなる配送オプションの検討などを進めることで、競合との差別化を図り、さらなる成長が期待できるものと考えております。

Q3. アーティストによるライブ配信が増えているが、リテール・ライセンス事業にプラスの影響はあるか？

ライブ配信に合わせてグッズ販売の企画を行うなどの施策でECでのグッズ販売を伸ばすことが考えられますし、ライブ配信を通じてファンが増えることによって間接的にグッズの売上が伸びる可能性が期待できます。

Q4. 現在のコロナウイルス感染拡大の第二波の影響はあるか？また、それは計画に織り込まれているか？

クロスボーダー部門では、国際物流網が維持されること、バリューサイクル部門は緊急事態宣言などの強力な自粛要請がでないこと、またリテール・ライセンス部門では、今期中はイベントが開催されない事などを前提として織り込んだ計画となっておりますが、感染の再拡大（第二波）に特別に起因する影響は現在のところ軽微であると考えております。

以上